



平成26年10月1日

(株)小田原魚市場

代表取締役社長 米山 典行

小田原市漁業協同組合

代表理事組合長 高橋 征人

小田原市公設水産地方卸売市場買受人組合

組合長 古川 孝昭

小田原市公設水産地方卸売市場の老朽化に伴う施設・設備改修方策等の
早急な検討について（要望）

秋色の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろから地元水産業の振興にご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、小田原市公設水産地方卸売市場（以下「小田原魚市場」という。）は、昭和43年に開設されましたが、築46年が経過し、海風や塩害を受ける立地環境から年数以上に施設の老朽化が顕著であります。

また、東日本大震災以降、こうした震災に対する恐怖は増すばかりです。

われわれ小田原魚市場利用関係者は、現在の限られた施設条件の中、多様化する消費者ニーズや衛生管理など新たな課題へも適切に対応し、市民等の豊かな食生活に資するため日々業務を行ってまいりました。

今後も、県西2市8町はもとより首都圏を含めた多くの消費者に、安心・安全で新鮮な魚を安定的に届けるためには、市場の施設・設備の改修等は喫緊の課題であると考えております。

つきましては、公設水産地方卸売市場施設開設者である御市には、早急に、今後の市場機能の基本的なあり方を市場利用関係者の意見を広く聴取の上、とりまとめたいただくとともに、施設・設備の改修方策等の検討を始めていただきたく、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

〔問い合わせ窓口 (株)小田原魚市場 電話 22-8131〕